



2020年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月11日

上場会社名 株式会社サイバー・バズ 上場取引所 東
 コード番号 7069 URL <https://www.cyberbuzz.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高村 彰典
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 和田 瑞樹 TEL 03-6758-4738
 定時株主総会開催予定日 2020年12月16日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月17日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年9月期の連結業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	2,996	1.8	215	△50.4	204	△50.3	168	△39.2
2019年9月期	2,944	20.3	433	85.6	411	75.1	276	67.7

（注）包括利益 2020年9月期 168百万円（△39.2%） 2019年9月期 276百万円（67.7%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	45.72	41.71	9.0	8.9	7.2
2019年9月期	90.39	75.61	22.9	24.4	14.7

（参考）持分法投資損益 2020年9月期 ー百万円 2019年9月期 ー百万円

- （注）1. 当社は、2019年2月23日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、2019年9月期の「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。
2. 当社は、2019年9月19日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2019年9月期の「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」は、新規上場日から2019年9月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	2,375	1,996	84.0	527.84
2019年9月期	2,212	1,738	78.6	508.10

（参考）自己資本 2020年9月期 1,996百万円 2019年9月期 1,738百万円

- （注）1. 当社は、2019年2月23日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、2019年9月期の「1株当たり純資産」を算定しております。

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	142	△102	90	1,638
2019年9月期	227	△20	777	1,509

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	16.8	260	20.8	260	27.2	180	6.9	47.58

- （注） 1. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。
 2. 2020年8月1日付で当社の完全子会社である株式会社glamfirstを吸収合併し、連結対象の子会社がなくなりましたが、2020年10月16日付で当社100%出資子会社である株式会社ソーシャルベースを設立したため、引き続き連結財務諸表作成会社として連結業績予想を開示しております。

※ 注記事項

- （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）株式会社glamfirst

- （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

- （3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期	3,783,100株	2019年9月期	3,421,500株
② 期末自己株式数	2020年9月期	138株	2019年9月期	一株
③ 期中平均株式数	2020年9月期	3,681,405株	2019年9月期	3,063,664株

- （注）当社は、2019年2月23日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、2019年9月期の「期中平均株式数」を算定しております。

（参考）個別業績の概要

2020年9月期の個別業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

- （1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	2,823	14.2	194	△27.7	183	△25.6	360	116.8
2019年9月期	2,472	16.3	268	108.7	246	89.6	166	78.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期	97.82	89.24
2019年9月期	54.22	45.35

- （注） 1. 当社は、2019年2月23日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、2019年9月期の「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。
 2. 当社は、2019年9月19日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、2019年9月期の「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」は、新規上場日から2019年9月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

- （2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	2,375	1,996	84.0	527.84
2019年9月期	1,939	1,546	79.7	452.04

（参考）自己資本 2020年9月期 1,996百万円 2019年9月期 1,546百万円

<個別業績の前期実績値との差異理由>

当社は、当事業年度において連結子会社である株式会社glamfirstを吸収合併し、当社個別決算において抱合せ株式消滅差益205百万円を特別利益に計上しております。これにより、前事業年度の当期純利益実績値と当事業年度の当期純利益実績値との間に差異が生じておりますが、連結子会社の合併に伴うものであり連結業績には影響ありません。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、経済活動の停滞や個人消費の低迷が続き、現状においても先行きが不透明な状況で推移しております。

当社グループが事業展開を行う2019年の国内インターネット広告市場は、初めてテレビメディア広告市場を超え、前年比19.7%増の2兆1,048億円(注1)と推計されております。また、2020年の国内インフルエンサーマーケティング市場は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う広告主の広告費削減の影響を受けたものの、前年比5.3%増の317億円と推計されており、同市場規模は、2021年に425億円、2025年に723億円(注2)と2020年比約2.3倍程度に拡大していくことが予測されております。

このような環境の中、当社グループでは「NINARY」「Ripre」「to buy」といったInstagramを始めとした各SNSプラットフォームにおけるインフルエンサーを企業マーケティングへ活用する「インフルエンサーサービス」、企業の保有するSNSアカウントの企画・コンサルティングを含めた運用代行を行う「SNSアカウント運用」、ソーシャルメディア関連広告を中心とした他社の広告商品の代理販売を行う「インターネット広告代理販売」及びInstagramに特化した戦略子会社「株式会社glamfirst」の4つのサービスを展開し、企業がSNSプラットフォームを通して消費者へ行うマーケティング活動を総合的に支援して参りました。

サービス別売上高については下記の通りとなります。

インフルエンサーサービスについては、前年同期比で案件数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により主要顧客の広告費削減の影響を受け、売上高は1,330百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

SNSアカウント運用については、前年同期比で案件単価及び案件数ともに増加し、売上高は440百万円(同40.6%増)となりました。

インターネット広告代理販売については、外出自粛要請に伴う店頭販売低迷により大型案件が停止となったものの、前年同期比では案件単価及び案件数ともに増加し、売上高は1,038百万円(同21.4%増)となりました。

株式会社glamfirstについては、2020年8月1日付の当社との吸収合併に伴い、当社への案件の移管を進めたことにより、売上高は187百万円(同62.0%減)となりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,996百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益215百万円(同50.4%減)、経常利益204百万円(同50.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益168百万円(同39.2%減)となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは、ソーシャルメディアマーケティング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(注1) 出典：株式会社電通「2019年 日本の広告費」

(注2) 出典：サイバー・バズ/デジタルインファクト調べ「国内ソーシャルメディアマーケティングの市場動向調査」

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は2,147百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円増加いたしました。これは主に電子記録債権が53百万円減少したものの、現金及び預金が129百万円増加したことによるものであります。固定資産は228百万円となり、前連結会計年度末に比べ87百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が34百万円、敷金及び保証金が46百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、2,375百万円となり、前連結会計年度末に比べ163百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は379百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が100百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、379百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円減少いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は1,996百万円となり、前連結会計年度末に比べ258百万円増加いたしました。これは主に、資本金45百万円、資本剰余金45百万円、利益剰余金168百万円の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は84.0%(前連結会計年度末は78.6%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ129百万円増加し、当連結会計年度末には1,638百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は142百万円(前年同期比37.5%減)となりました。これは主に、法人税等の支払額158百万円の資金減少要因があった一方で、税金等調整前当期純利益229百万円の資金増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は102百万円(同393.5%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出47百万円、敷金及び保証金の差入による支出45百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は90百万円(同88.4%減)となりました。これは主に、新株の発行による収入90百万円によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループが事業展開を行うインフルエンサーマーケティング市場は、2020年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う広告主の広告費削減の影響を受けたものの、依然としてクライアント企業の商品のブランディングや認知度の向上が期待できることから、その手法の活用に関するニーズが高まっており、今後も市場拡大が期待されております。

また、当社グループでは、成長を加速するための投資を継続することが中長期的な企業価値向上にとって重要であると考えており、精緻なコストコントロールを行いながらも将来の事業成長に向けた積極的な投資を実施する方針であります。

以上を踏まえ、2021年9月期の連結業績予想につきましては、売上高3,500百万円(前年同期比16.8%増)、営業利益260百万円(同20.8%増)、経常利益260百万円(同27.2%増)、親会社株式に帰属する当期純利益180百万円(同6.9%増)を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき、新型コロナウイルス感染症による影響が2021年3月まで続くと仮定して作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,509,032	1,638,701
受取手形及び売掛金	484,156	469,289
電子記録債権	53,186	—
貯蔵品	1,146	1,026
その他	24,022	38,344
流動資産合計	2,071,545	2,147,361
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	56,423	34,316
減価償却累計額	△28,690	△1,473
建物附属設備(純額)	27,732	32,842
工具、器具及び備品	25,328	60,076
減価償却累計額	△7,354	△12,503
工具、器具及び備品(純額)	17,974	47,572
有形固定資産合計	45,706	80,415
無形固定資産		
ソフトウェア	13,450	7,463
ソフトウェア仮勘定	1,787	4,201
無形固定資産合計	15,237	11,664
投資その他の資産		
投資有価証券	—	7,500
繰延税金資産	24,259	28,084
敷金及び保証金	54,419	100,783
その他	1,215	—
投資その他の資産合計	79,893	136,368
固定資産合計	140,837	228,448
資産合計	2,212,383	2,375,810
負債の部		
流動負債		
買掛金	133,675	170,071
未払金	104,020	70,933
未払法人税等	108,451	8,186
ポイント引当金	—	17,310
その他	127,774	112,502
流動負債合計	473,922	379,004
負債合計	473,922	379,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	411,610	457,021
資本剰余金	411,610	457,021
利益剰余金	915,240	1,083,547
自己株式	—	△783
株主資本合計	1,738,460	1,996,805
純資産合計	1,738,460	1,996,805
負債純資産合計	2,212,383	2,375,810

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	2,944,798	2,996,588
売上原価	1,186,307	1,275,629
売上総利益	1,758,490	1,720,959
販売費及び一般管理費	1,324,786	1,505,699
営業利益	433,703	215,259
営業外収益		
雑収入	198	6,685
営業外収益合計	198	6,685
営業外費用		
減価償却費	10,005	13,341
株式公開費用	2,000	—
株式交付費	10,302	—
雑損失	134	4,131
営業外費用合計	22,443	17,472
経常利益	411,459	204,472
特別利益		
債務免除益	5,155	—
移転補償金	—	24,650
特別利益合計	5,155	24,650
税金等調整前当期純利益	416,614	229,122
法人税、住民税及び事業税	137,548	64,640
法人税等調整額	2,149	△3,825
法人税等合計	139,697	60,815
当期純利益	276,917	168,307
親会社株主に帰属する当期純利益	276,917	168,307

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
当期純利益	276,917	168,307
包括利益	276,917	168,307
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	276,917	168,307

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	20,150	20,150	638,323	678,623	678,623
当期変動額					
新株の発行	391,460	391,460		782,920	782,920
親会社株主に帰属する当期純利益			276,917	276,917	276,917
当期変動額合計	391,460	391,460	276,917	1,059,837	1,059,837
当期末残高	411,610	411,610	915,240	1,738,460	1,738,460

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	411,610	411,610	915,240	—	1,738,460	1,738,460
当期変動額						
新株の発行	45,411	45,411			90,822	90,822
自己株式の取得				△783	△783	△783
親会社株主に帰属する当期純利益			168,307		168,307	168,307
当期変動額合計	45,411	45,411	168,307	△783	258,345	258,345
当期末残高	457,021	457,021	1,083,547	△783	1,996,805	1,996,805

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	416,614	229,122
減価償却費	25,509	45,916
債務免除益	△5,155	—
株式公開費用	2,000	—
株式交付費	3,045	—
移転補償金	—	△24,650
売上債権の増減額 (△は増加)	△90,899	68,054
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△238	120
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,988	36,395
未払金の増減額 (△は減少)	△15,150	△35,771
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	—	17,310
その他	11,807	△36,225
小計	317,544	300,271
法人税等の支払額	△90,242	△158,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	227,302	142,126
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	—	△7,500
有形固定資産の取得による支出	△9,189	△47,271
無形固定資産の取得による支出	△9,041	△2,447
敷金及び保証金の差入による支出	△2,540	△45,276
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,771	△102,495
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	779,874	90,822
株式公開費用による支出	△2,000	—
自己株式の取得による支出	—	△783
財務活動によるキャッシュ・フロー	777,874	90,038
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	984,406	129,668
現金及び現金同等物の期首残高	524,626	1,509,032
現金及び現金同等物の期末残高	1,509,032	1,638,701

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、ソーシャルメディアマーケティング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり純資産額	508.10円	527.84円
1株当たり当期純利益	90.39円	45.72円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	75.61円	41.71円

- (注) 1. 当社は、2019年9月19日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から2019年9月期末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
2. 当社は、2019年2月6日開催の取締役会決議に基づき、2019年2月23日付で普通株式1株につき50株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、前連結会計年度の「1株当たり純資産額」、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	276,917	168,307
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	276,917	168,307
普通株式の期中平均株式数(株)	3,063,664	3,681,405
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	598,906	354,164
(うち新株予約権(株))	(598,906)	(354,164)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。